



宮部 誓雅	
人生はミステリーツアー？	1
新堀 慈心	
涙に気づかされたためくもり	11
久留島 法暁	
仏さまの視点	21
普賢 保之	
お盆	31

本文中、『註釈版聖典』の引用は「第二版」を用いています。
表紙絵・挿絵／羽尻 利門

人生はミステリーツアー？

宮部 誓雅

お盆に、亡き方を偲び、手を合わせておきますと、ある問いが起こつてまいります。「ああ、あのお方はどこへ行かれたのだろうか？」「今何をしておられるのだろうか？」。

しかし、その問いは、いつしか自分自身に向けられた問いであることに気づかされます。つまり、故人の行き先をたずねるといふことは、私の行き先をたずねることでもあるのです。

ある連休中の朝、駅に向かうバスの中で興味深い会話を耳にしました。



方はミステリーツアーに参加される予定だったのです。ミステリーツアーとは、団体旅行に新鮮さや、驚きを与えるために、あえて出発まで目的地を知らせないというイベント型の旅行です。期待と不安が入り交じるところが魅力となり、人気を博しているそうです。ツアーに参加される方の中には、「行き先がわからないので準備が大変だった」と言う方もおられるといいます。なるほど、私

それは二人の女性の会話で、どうやら久方ぶりの再会であったようです。「あら、久しぶりね。お元気でしたか？」といったやり取りが続きます。その後、一人の方が、大きなカバンを持っておられることに気づいて、「あれっ？ どこか旅行にでも行かれるの？」と尋ねると、「ええ、そうなの。一泊でね」と、どうやら旅行に行かれる様子でした。

「それはいいわね！ じゃ、じゃらまじゅー！」

「それが行き先はわからないのよー！」

「えっ？ どういうこと？」

傍で聞いていた私は、いったい何の話なのかと興味津々でした。すると最後に、「そういう旅行なのよー！」と言われたのです。

皆さんはもうお気づきになりましたでしょうか？ そうです。その



私たちは日常生活の中で、行き先を知らずに家を出る機会がどれほどあるでしょうか。大抵は行き先がわかった状況で支度をし、出かけることが多いと思います。行き先がわからなければ準備のしようがありません。私は大切なことを教えていただいたように思いました。

しばしば、人生は旅になぞらえられることがあります。そして、よく旅の終わりを「死」で受け止められているように思います。旅ならば目的地があるはず。それはいいんだけどこなのでしょうか。

現代は情報の時代と言っても過言ではありません。何が健康に良いのか、何がアンチエイジングに有効なのか、いかにして充実した生活を送るか、などなど。しかし、その情報は、旅ゆく者に、快い景色を見せてくれるものであって、人生の目的地を指し示したものではありません。

そのような情報は無いに等しいと言えます。

私自身、将来を見据えて人生設計をしているつもりですが、私の人生そのものがどこを向き、何のために人生という旅を続けているのかを深く考えたことはありませんでした。

日々の忙しさの中で、目の前に起る課題や、問題に向かい合うことで精いっぱいになってしまっていたのです。「あなたの人生は、どこに向か